

平成 30 年度 事業報告書

概 況

平成 30 年度におけるわが国経済は、企業収益が改善するなか設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しの動きも見られました。夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられましたが、穏やかながらも回復基調で推移しました。この結果、実質 GDP（国民総生産）成長率は 0.9%程度と見込まれます。一方で、米中貿易摩擦のリスクの高まりなど、海外における政治経済情勢の不確実性により先行きは不透明な状況が続いています。

さて、今年度の弊協会の売上は、このような環境下のなかで、全体で略 32 億円と前期比増収となりました。集団検診部門においては「個人オプション検査（腫瘍マーカー検査）」等新項目が大きく伸び、昨年度に続き 20 億円を突破いたしました。また本部診療所においても、3 年前から実施している午後健診の効果で受診者が増加、前期比増収で初めて 4 億円を突破いたしました。

一方で利益面では、補助金収入があり経常利益は増益でしたが、健診精度向上のための読影コスト上昇や人件費のアップ、検査材料費の増加等で、営業段階では減益の決算となりました。各健康保険組合の財政難から、新たな収益機会の導入は難しいものがあります。こうした中で健診精度を高めるとともに、一層の効率化を図っていきたいと思います。

弊協会は内閣府より認可を受け、平成 24 年 4 月 1 日に「一般財団法人京浜保健衛生協会」となり、平成 30 年度末で 7 年が経過しました。行政をはじめ、関係諸団体と連携を密にし、弊協会の定款に定める健康診断並びに調査研究指導・啓発広報等を通じ、国民の生活習慣向上のために健康診断事業を適切に推進していきたいと思います。引き続き関係各位のご支援とご指導をよろしくお願いいたします。

I. 集団健康診断事業・診療所事業

1. 集団健診事業

1) 受診者数・売上状況

- ・今年度は、約 41 万人の方々に受診いただき、前年比わずかですが減少となりました。
- ・売上は昨年に引き続き 20 億円を上回り、前期比増収となりました。

2) 主な動向

- ・大手先の喪失もありましたが、新規先の獲得、個人オプション検査等の増加により、前年を上回る売上を確保することが出来ました。
- ・血液オプション検査は 10 月より NT-proBNP を追加し、受診者のニーズに応えると共に来期の売上増加を目指しています。

2. 診療所事業

1) 受診者数・売上状況

- ・今年度の総受診者は、前期比増加となり、24,500 名を超える方々に受診いただきました。
- ・売上は、約 4 億円で前期比増収となりました。

2) 主な動向

- ・午後健診枠を活用し、人間ドック・定期健診・内視鏡検査の受診者が増加し、売上は初めて 4 億円を上回りました。

II. 調査研究事業

1. 調査事業

がん検診追跡調査

- ・平成 29 年度、がん検診（胃・胸・大腸・子宮・乳房）の受診者は、338,262 名（男 230,983 名；69.3%、女 102,279 名；30.7%）でした。
- ・要精密検査となった者のうち、追跡調査用紙を発送できたものは 495 名、回収できた者は 406 名で発送数の 82.0%でした。

2. 健康支援事業

- ・健康相談事業は、健康診断に付随してそれぞれ必要に応じた場面で
行っています。
- ・診療所に付設されている保健指導室を活用して、668 人の受診者と個人面接を実施しました。
- ・相談内容は、骨量・特定保健指導等です。

3. 特定保健指導

- ・生活習慣改善で大事なことは「自己効力感」と言われています。当協会のプログラムは、対象者の方々の個別性を踏まえ、自己効力感を高め、メタボ脱却へと3か月と6か月間の支援を行なっています。
- ・9 健保に対して、積極的支援 77 名、動機づけ支援 85 名、総計 162 名の方々に特定保健指導を実施いたしました。

Ⅲ.公益事業

当協会は、平成 24 年 4 月 1 日に内閣府の認可を得て「一般財団法人」となってから 7 年目を迎えました。一般財団法人への移行にともない策定した「公益目的支出計画」に基づき、公益性の高い事業を実施することで広く企業や地域社会の皆様方へ還元してきました。今後も引き続き公益事業の活動に力を注ぎ、さらなる還元を目指します。

当協会の公益事業は（1）幼稚園事業、（2）JMS 事業、（3）講演会事業、（4）広報事業の 4 つの事業を柱としています。

1. 幼稚園事業

- ・子育てで忙しく日頃健診を受ける機会が少ない 18 園の幼稚園児の母親および教職員を対象に、各幼稚園に直接伺い、血液検査と骨量測定を行いました。
- ・血液検査と骨量測定を受けられた 788 名の受診者と、婦人科検診を受けられた 619 名の受診者にアンケートを実施いたしました。

2. JMS事業

- ・日本乳がんピンクリボン運動が2009年から「10月第3日曜日」を「ジャパン・マンモ・サンデー」として全国の医療機関に賛同を呼びかけ、当協会も趣旨に賛同し実施しています。
- ・今年度は、10月21日に開催し、90名の市民の方に受診いただきました。

3. 講演会事業

- ・第31回定例健康管理講演会を、11月15日にTKPガーデンシティ品川にて、料理研究家のコウケンテツ先生を講師としてお招きし、演題「心とからだを育む健康ごはん」のご講演をいただきました。
- ・144名の参加者からは「食育など幅広く聞くことができ、貴重な時間でした」、「社内の教育で使用したい」など多くの感想をいただきました。

4. 広報事業

- ・広報誌「ほほえみらいふ」を次の通り発行しました。

平成30年7月2日 72号 2,000部。

平成31年1月7日 73号 2,000部。

発送先：官公庁、事業所、地区組織、全衛連加盟機関等。

以上